

日銀短観(2012年9月調査)結果

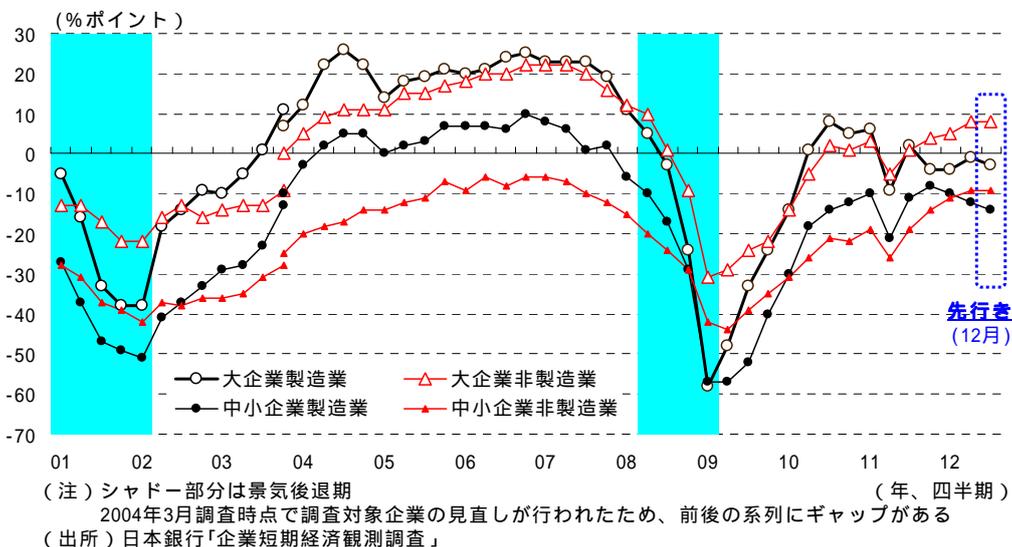
～ 大企業製造業の景況感が3四半期ぶりに悪化～

大企業製造業の景況感は3四半期ぶりに悪化

本日発表された日銀短観(9月調査)では、大企業製造業の業況判断DI(「良い」-「悪い」)は前回調査から2ポイント低下の-3と、3四半期ぶりに悪化した。海外景気の減速が長引き輸出が低迷していることや在庫が積み上がっていることなどをを受けて、このところ生産が弱含んでおり、素材業種、加工業種とも景況感は悪化している。業種別の動きをみると、在庫調整は徐々に進展しているものの、需要自体が弱いこともあって、電気機械の業況判断DIは悪化しており、低水準での推移が続いている。また、これまで自動車生産を押し上げてきたエコカー補助金は9月21日に申請受付が締め切られたが、既に終了前から減産が始まっており、自動車では足元の景況感が大きく悪化している上、先行きは低下幅がさらに拡大している。もっとも、製造業全体でみた先行きDIは-3と景況感の悪化に歯止めがかかると見込まれている。自動車を除くと先行きの景況感は比較的底堅く、企業は景気の調整局面は一時的にとどまるとみているようだ。

大企業非製造業の業況判断DIは8と、前回調査と同水準であった。復興関連を中心に建設や不動産、物品賃貸などで景況感の改善が続いている。一方、震災後の落ち込みからの反動が一巡したことや夏場の天候不良といった要因もあって小売で景況感が悪化しているなど、一部に弱い動きもある。先行きの業況判断DIは3ポイント悪化の5となっている。個人消費を中心に内需の伸びが一服していることを受けて、対個人サービスや宿泊・飲食サービスといった業種で低下している。また、復興需要は引き続き見込まれるものの、押し上げ効果は徐々に剥落するとみられることから、建設でも悪化しているなど、全体的に慎重な姿勢が強まっている。

図表1 業況判断DIの推移



図表2 大企業業況判断D Iの内訳

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

	大 企 業					
	2012年6月調査		2012年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
製 造 業	-1	1	-3	- 2	-3	0
素 材 業 種	-6	-2	-7	- 1	-3	+ 4
織 維	-13	-10	-13	0	-10	+ 3
紙 パ	-6	-3	-4	+ 2	-17	- 13
化 学	-3	-1	-4	- 1	0	+ 4
石 油 ・ 石 炭	-33	-13	-13	+ 20	7	+ 20
窯 業 ・ 土 石	-7	-2	-2	+ 5	-2	0
鉄 鋼	-17	-4	-28	- 11	-12	+ 16
非 鉄	11	0	0	- 11	0	0
加 工 業 種	1	2	-2	- 3	-3	- 1
食 料 品	1	4	8	+ 7	0	- 8
金 属 製 品	-16	-9	-23	- 7	-7	+ 16
は ん 用 機 械	13	13	9	- 4	7	- 2
生 産 用 機 械	1	8	-11	- 12	-1	+ 10
業 務 用 機 械	-6	-2	6	+ 12	4	- 2
電 気 機 械	-14	-4	-13	+ 1	-7	+ 6
自 動 車	32	15	19	- 13	-5	- 24
非 製 造 業	8	6	8	0	5	- 3
建 設	-1	-4	1	+ 2	-3	- 4
不 動 産	5	5	8	+ 3	11	+ 3
物 品 賃 貸	21	12	21	0	15	- 6
卸 売	0	2	0	0	-2	- 2
小 売	8	6	3	- 5	5	+ 2
運 輸 ・ 郵 便	5	1	4	- 1	-3	- 7
通 信	52	44	48	- 4	44	- 4
情 報 サ ー ビ ス	7	5	7	0	10	+ 3
電 気 ・ ガ ス	-7	-5	-5	+ 2	-10	- 5
対 事 業 所 サ ー ビ ス	21	10	29	+ 8	21	- 8
対 個 人 サ ー ビ ス	25	20	23	- 2	15	- 8
宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス	3	-5	6	+ 3	-4	- 10
全 産 業	3	3	2	- 1	1	- 1

中小企業の景況感は製造業では悪化、非製造業では横ばい

中小企業の業況判断DIは、大企業と同様、製造業では2ポイント低下の-14と悪化した。非製造業では前回調査と同水準の-9となった。製造業では世界経済の減速を背景とした輸出の低迷や、エコカー補助金制度の終了を控えて、自動車を中心に加工業種の景況感は悪化した。一方、ほとんどの業種で景況感がマイナスとなる中、化学ではプラスへと改善しており、素材業種の景況感は横ばいとどまっている。一方、非製造業では復興需要の恩恵を受けて建設や不動産、物品賃貸で改善している。先行きDIは、製造業、非製造業とも低下が見込まれており、中小企業の景気先行きに対する警戒感は引き続き強いことが示された。とくに、製造業と比べ非製造業では悪化幅が大きい。足元では内需の伸びが一服しており、今後は復興需要の押し上げ効果も一巡するとみられることから、建設や小売、宿泊・飲食サービスなどで先行きには慎重な姿勢が強まっている。

図表3 中小企業業況判断DI

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

	中 小 企 業					
	2012年6月調査			2012年9月調査		
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
製 造 業	-12	-15	-14	- 2	-16	- 2
非 製 造 業	-9	-15	-9	0	-16	- 7
全 産 業	-10	-15	-11	- 1	-15	- 4

経常利益は大企業、中小企業とも下方修正

今年度の大企業の経常利益計画は、製造業を中心に下方修正された。製造業では、世界経済の低迷を背景に輸出が弱含んでいるものの、売上高の増加が見込まれる中、経常利益も増加するとの見通しが維持された。ただし、昨年度が大幅な減益であった加工業種で増加が見込まれている一方、素材業種では減益となっている。また、今年度の想定為替レートは1ドル79.06円と、前回調査時点(1ドル78.95円)からやや円安方向に修正されたものの、9月末時点では77円台後半で推移しており、収益の下振れ要因となるリスクがある。非製造業については、売上高は増加が見込まれるものの、電力会社で大幅な収益悪化が予測されることもあって、経常利益は2年連続で減少すると見込まれている。ただし、昨年度と比べ減少幅は縮小するとみられ、計画自体は比較的底堅さを維持している。

今年度の中小企業の経常利益計画は、製造業、非製造業ともに小幅に下方修正されたものの、増益の見通しである。大企業と比べ内需への依存度が総じて高く、リーマン・ショック後の落ち込みからの改善が遅れていたこともあり、非製造業の収益計画を押し上げている。

図表4 売上・収益計画
大企業

<6月調査> <9月調査>

<売上高> (前年度比、%)

	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (計画)	2012年度 (計画)	
					修正率
製造業	6.9	0.4	5.1	3.3	-1.7
非製造業	4.7	3.5	2.1	1.6	-0.5

<経常利益> (前年度比、%)

製造業	67.9	-11.7	10.1	3.2	-6.2
非製造業	33.2	-7.2	-1.8	-2.3	-0.5

<売上高経常利益率> (%)

製造業	4.68	4.11	4.31	4.11	-0.20
非製造業	4.23	3.79	3.64	3.64	0.00

(注) 修正率(%)は前回調査との対比。

中小企業

<6月調査> <9月調査>

<売上高> (前年度比、%)

	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (計画)	2012年度 (計画)	
					修正率
製造業	5.5	1.2	0.5	-0.2	-0.7
非製造業	0.7	1.6	-0.2	0.3	0.5

<経常利益> (前年度比、%)

製造業	61.6	1.7	11.5	6.6	-4.5
非製造業	5.2	17.5	5.7	4.3	-1.3

<売上高経常利益率> (%)

製造業	3.07	3.08	3.42	3.29	-0.13
非製造業	2.08	2.41	2.55	2.50	-0.05

(注) 修正率(%)は前回調査との対比。

設備投資は緩やかな持ち直し局面

大企業の今年度の設備投資（含む土地、除くソフトウェア）計画は、製造業でわずかに下方修正された一方、非製造業ではやや上方修正された。内外景気の先行き不透明感が増しているものの、例年、この時期に計画が大幅に見直されることは少ない。リーマン・ショック以降、先送りされていた更新投資に加え、震災からの復旧・復興のための投資を中心に、企業は設備投資を増やす局面にあるとみられ、今年度の設備投資は増加計画が維持されている。しかし、企業を取り巻く収益環境は厳しさが続いており、設備投資は力強さを欠いた展開が続くことになるだろう。

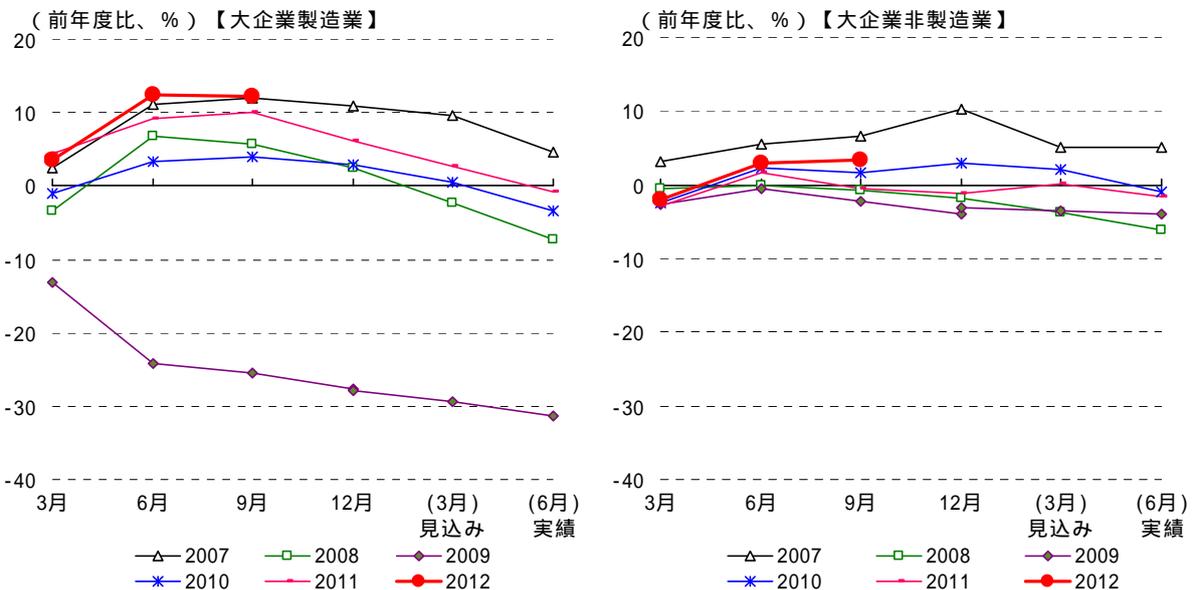
中小企業の今年度の設備投資計画は、年度計画や実績が固まってきたこともあって、製造業と非製造業とも例年通り上方修正された。とくに、2008年度以降、4年連続で減少が続いていた非製造業では、3月調査時点からかなり強めの計画となっていた。今回調査では5年ぶりの増加が見込まれているが、これまで大幅な減少が続いていたことへの反動という側面が強いとみられる。

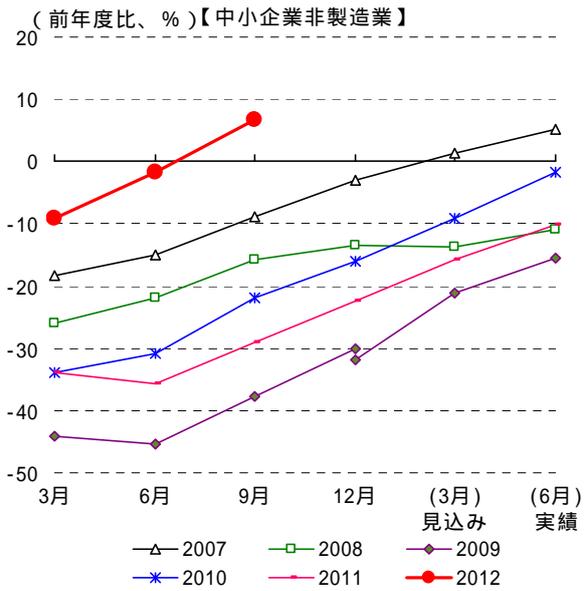
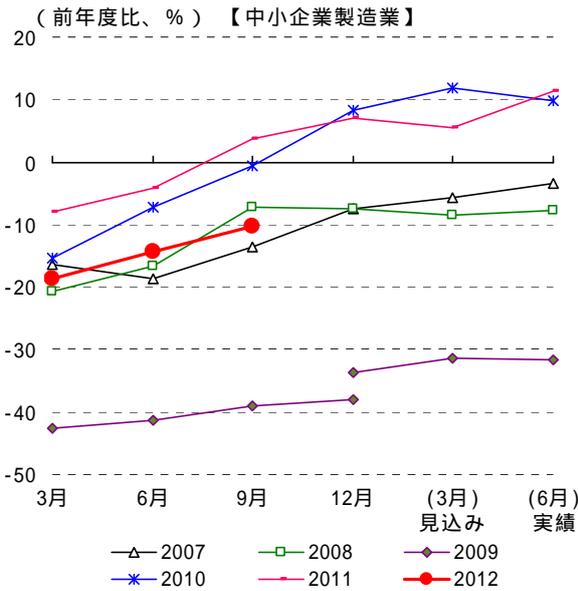
図表5 設備投資計画（含む土地、除くソフトウェア）

		<6月調査>		<9月調査>		(前年度比、%)	
		2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (計画)	2012年度 (計画)	修正率	
大企業	製造業	-3.5	-0.7	12.4	12.3	-0.1	
	非製造業	-1.0	-1.5	3.0	3.3	0.3	
	全産業	-1.9	-1.3	6.2	6.4	0.2	
中小企業	製造業	9.8	11.3	-14.3	-10.3	4.7	
	非製造業	-1.6	-10.1	-1.6	6.7	8.5	
	全産業	2.0	-2.7	-6.6	0.0	7.1	

(注) 修正率(%)は前回調査との対比。リース会対ベース。

図表6 設備投資計画の修正推移





三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社
 調査部 尾島 未輝 (chosa-report@murc.jp)
 〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2
 TEL: 03-6733-1070

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。